
目次

まえがき	吉田一史美	5
------	-------	---

第1部 生命倫理と現代史研究

1 体外受精の臨床応用と日本産科婦人科学会の「見解」	由井秀樹	12
2 1990年代以降の日本における着床前診断をめぐる論争の推移 ——着床前スクリーニング（PGS）を中心に	利光恵子	31
3 母体血を用いた出生前検査（NIPT）と「臨床研究」 システムが示すもの	山本由美子	61
4 日本における妊娠相談と養子縁組をめぐる運動と立法 ——実子特例法制定運動から養子縁組あっせん法試案へ	吉田一史美	78

第2部 公開研究会「生殖補助医療技術の発達史と倫理的課題」

1 講演「体外受精技術のリスクをめぐる認識の変遷過程」	花岡龍毅	96
2 質疑応答		112
3 スライド資料		134

第3部 生殖と家族

1 里親の実子が里親養育から受ける影響 ——きょうだい・家族とは何か	山本真知子	152
2 家族の形成と解体 ——不妊クリニックへの通院を経て里子を迎えた養育里親の語りから	由井秀樹	166
あとがき	由井秀樹	180